

平成28年10月 議会報告会での要望及び意見に対する回答

No.	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
1	曾根	飛鳥神社の楠の木について、台風等で倒れると危険。本来的には県の所管だということで県にも要望しているが、市の教育委員会としても協力してほしい。	飛鳥神社樹叢は県の天然記念物に指定されており、貴重な文化財であるものの、所有者管理の観点から文化財として処理する事業等はないのが現状です。しかし、教育委員会としても区とともに県に相談を持ちかけることや、文化財保護とは別の公的助成制度または民間補助金等の活用について、ともに検討してまいります。	教育生涯学習課
2	曾根	三木里で大型バスを方向転換のため回転させるが、後ろをみると絶壁、車止めはあるが恐怖心がある。車止めの高さを検討してほしい。	車止めについては、三重交通とも相談し、バスの車体(低床バス)を勘察し、可能な限り最大サイズの子止めを設置しており、これ以上の高い車止めは設置できません。また、この車止めはバス車両を十分受け止められるものとなっております。また、公共交通については、「地域公共交通網形成計画」の策定のため、各地域を住民懇談会で回っており、それぞれの地区の要望を受け尾鷲市全体の公共交通網の形成を行っております。	市長公室
3	曾根	総合病院前のバス停について、病院へ行かれる方は足や腰が痛くて通院しているのに、バス停にベンチもない。暑い中でも地べたに座っている状態。何とかベンチの設置をお願いしたい。	歩道上へのベンチの設置については、幅員が足りず、安全上の問題から困難になっております。輪内方面へ行く方については、パーティハウスの店舗前のベンチを利用させていただけるようにご協力いただいております。現状では、そちらのベンチをご利用いただきたいと思います。	市長公室
4	曾根	病院前の交差点の信号について、紀北信用からサークルKまで渡りきる前に信号が赤に変わっています。高齢者には大変厳しい。	「交通弱者用押しボタン」が設置されています。ご存知でしょうか。白色のボックスの押しボタンです。時間帯にもよりますが、昼間ですとボタンを押していただくことで、歩行者用信号機の青信号の時間が長くなりますのでご利用願います。	市民サービス課
5	古江	総合病院のリニアックについて、松阪などへ通院と言われても年金生活者には交通費も厳しい。東紀州の中核病院でもあるのでお金がないと言わないでリニアックを更新してほしい。	リニアックの整備については、更新費用に約3億8千万円が必要であり、10年連続して赤字決算の尾鷲総合病院が病院独自で設置した場合、現状でも厳しい経営が更に厳しくなり、病院運営そのものに支障をきたすことが予想されます。今後に限られた財源の中、市全体の財政状況や市民の皆さんにより満足をいただける事業の優先順位を精査しながら、リニアック更新についても引き続き検討してまいります。	総合病院

No.	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
6	古江	古江には栽培漁業センターやアクアステーション、しお学舎等がありこれを利活用して地域を活性化させるべき。しお学舎ではラーメンの開発等の話もあったが、実績が出ていない。補助金等もだしているのだから何らかの報告をしてもらいたい。	モクモクしお学舎では塩ラーメンの開発を進めておりますが、まだ完成には至っておりません。継続して開発を進められておりますので、完成まで今しばらく、お待ちください。	水産商工食のまち課
7	古江	夜間救急で病院へかかったが入院させてもらえず帰された人もいる。病床利用率も減っている状況なので、地域事情も考慮してもらいたい。	救急医療では、初期(一次)救急診療を行い、入院治療が必要な中等症患者と診断された患者さんについては、入院治療を行い、軽症患者(帰宅可能患者)と診断された場合には、入院治療をおこなわないことを原則としています。医師の診断後に、帰宅後のご自分の体調に不安があるなど場合は、担当の医師・看護師にご相談いただきますようお願い申し上げます。	総合病院
8	古江	若潮公園のトイレの改修については、以前から要望しているが改善されない。他地域では国の補助等もありトイレは整備されている。水洗でなくても簡易トイレでもいいので何とかしてほしい。	若潮公園のトイレについては、今後とも定期清掃等により施設の維持管理に努めるとともに、簡易水洗等については、今後検討してまいります。	水産商工食のまち課
9	古江	津波の非難場所として元小林医院が空き家となっていて、内装程度の改修で十分使える状態。3～4年前に防災の年次計画に要望しているが返事もらっていない。	元小林医院の空き家につきましては、以前から防災危機管理室との話し合いの中で、小林医院空き家を防災倉庫にとの要望もございましたが、理論上最大クラスの南海トラフ地震想定におきまして津波浸水域であることから、現在用途につきましては、区長との間において継続協議中であります。	防災危機管理室
10	古江	古江の活性化にはアクアステーションを利用することが必要であるので、モクモクさんにアクアステーションの利用をお願いできないか。	観光集客等における、アクアステーションの利用については、今後とも、関係企業や団体等とも連携しながら、検討してまいります。	水産商工食のまち課
11	須賀利	空き家の調査については協力しているが、空き家の購入者等についての情報が何も入ってこない。個人情報等の問題もあると思うが、せめて顔合わせをするなど区長には情報提供をしてほしい。	他市町村の状況を情報収集し、移住者がスムーズに地域に溶け込めるように、一番良い方法を前向きに検討していきたい。	市長公室

No.	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
12	須賀利	平成28年度工事等要望書についての進捗状況について (平成28年5月13日付 「須賀利区から市長への意見・要望」)	林道大根須賀利線の舗装工事については、実施設計も終わり、年内に工事を発注し、契約する予定であります。 なお、本工事は5か年計画であります、早期に完成しますよう、補助金の獲得など努力していきます。	木のまち推進課
			平成28年度におきましては、平成28年9月30日に須賀利区入口公衆トイレ裏山へ逃げる為の避難路設置修繕をおこないました、今年度以降につきましても須賀利区内において優先順位が高い場所という事も、区長とも協議し継続して避難路設置修繕を行って参ります。	防災危機管理室
			漁港防潮扉については、これまで既存施設の定期点検を実施し、所見に応じた修繕工事等により施設の管理に努めております。須賀利漁港では、現在、水産物供給基盤機能保全事業により漁港施設の老朽化対策を進めております。今後、市管理漁港の長寿命化対策を順次進めるとともに、防潮扉等の動力化について検討してまいります。	水産商工食のまち課
13	市役所	旧矢浜保育園には立派な藤棚があるが、移設するかそのままにしておくのか	矢浜保育園跡地の活用につきましては現在検討中で、藤棚の取扱いについても現状のままであります。	福祉保健課
14	早田	「早田寒ブリまつり」は国庫補助ありきの事業だったが、補助要件の制限が厳しくなってきたため、国庫補助の活用が難しい。継続していくためには一般財源での予算化への理解を。	早田寒ブリまつりは、平成25年度から水産多面的機能発揮対策事業を活用し実施されてきましたが、昨年度からは、国庫補助事業の見直しにより、ビジョン早田実行委員会が漁協系統団体との共催により実施されております。この取り組みは、熊野灘の天然ブリの良さを広く知ってもらうとともに、適切な鮮度処理による寒ブリの販売システムの構築等を目的とされており、引き続き、県及び関係団体等とともに、事業運営に協力してまいりたいと考えております。	水産商工食のまち課
15	早田	「早田漁師塾」第5期(平成28年度)は良い人材を確保するため、フィルターをかけ厳選する予定。漁師塾参加実績が乏しい場合でも、来年度予算編成には理解を。	平成28年度(第5期)の参加者募集では、数件の問合せ等があったものの、書類選考等において、事業目的に沿った人材の確保等を考慮した結果、今回、受入には至らなかったと聞いております。但し、今後も漁協等が取り組む、若者の水産業への就業、就労の促進に対し支援してまいります。	水産商工食のまち課

No.	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
16	早田	今回から「つばき振興券」の引き換えに商工会議所まで行かなければならない。高齢者には厳しいので再検討を。	「つばき振興券」については、募集から発行、回収まで尾鷲商工会議所において実施しているため、今回の御意見については、商工会議所事務局にお伝えいたします。	水産商工食のまち課
17	三木里	三木里小学校は耐震化されていないが、地震、津波の際の避難場所なのは不安。三木・三木里小学校の統合の予定含め、今後の方針を示してほしい。	三木里小学校につきましては、すでに地区会にもお話しさせていただいておりますように、三木小学校との統合の可能性を検討しております。現在、統合検討基礎調査を行っており、この調査結果を踏まえて来年度末までには方針を決定することにしております。もう少しお時間をいただきたいと思います。	教育総務課
18	三木里	学童保育などの子育て支援策に関して、地域への丸投げは困る。福祉保健課と教育委員会の連携強化を。	輪内地区の学童保育(子どもの居場所)については、コミュニティセンターを中心に、市役所5課が連携して取り組んでおります。その運営方法等につきましても、地域の皆さまとともに検討して行きたいと考えています。	福祉保健課
19	三木里	名柄町の住民は「ふれあいバス」に乗るのに八十川まで行く必要があり、通院で利用する高齢者には厳しい。「ふれあいバス」の名柄町までの乗り入れ、もしくはスクールバスの活用等、別の改善策を。	ふれあいバスハラン線の延伸及び、スクールバスの活用等、可能な範囲で検討いたします。 また、公共交通については、「地域公共交通網形成計画」の策定のため、各地域を住民懇談会で回っており、それぞれの地区の要望を受け尾鷲市全体の公共交通網の形成に向けた取り組みを行っております。	市長公室
20	商工会議所女性部	尾鷲トレイル(山岳周遊コース)の確立を目指しているが、ハイカー向けの標識、案内板設置などのインフラ整備が課題。案内板などの設置費用を市にお願いしたい。市全域で統一したものにしたい。	案内看板等について、関係団体とも連携しながら、馬越峠周辺の天狗倉山など、看板素材の提供等について、検討してまいります。	水産商工食のまち課
21	商工会議所女性部	天狗倉山のスズメ蜂の件、安全の確保に努力を。	天狗倉山山頂付近の二か所のハチの巣を、10月22日と28日に撤去させて頂きました。現在は、念のため、スズメバチが活動を終える冬場まで、注意喚起の看板について継続設置しております。	水産商工食のまち課
22	市P連	三木里小の遊具が老朽化で危険だ、撤去ではなく、新しい遊具への更新でお願いできないか。	平成28年にまず、危険遊具と判定されたものを撤去するとともに、来年度以降には、今の学校規模も勘案しながら新しい遊具の設置を計画的に進めていくことにしています。	教育総務課
23	市P連	尾鷲幼稚園での3年保育の実施をお願いしたい。	教育委員会では、就学前教育の新たな指針を策定したうえで、幼稚園・保育園のあり方を協議しながら、尾鷲幼稚園における3年保育について検討をしてみたいと考えています。	教育総務課
24	市P連	尾鷲幼稚園での、送り迎えの際の駐車場の確保をお願いしたい。	現在、すでに幼稚園近くの土地を借上げし、送迎用の駐車場として利用いただいております。	教育総務課

No.	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
25	市P連	尾鷲中学校はテニスコートがない、せめて近くの市営グラウンドのコートを中学生でも使用できるオムニコートへの改修などで対応できないか。	現在、黒潮道路沿いにある中部電力のテニスコートを活用してテニス部の活動を行っています。コート面の不具合などありましたが、部分修繕を行い対応しているところでもあります。しかし、海岸近くで防災上の観点からも、策定したスポーツ振興計画からも、市営グラウンドのコートを改良して部活動でも利用できる仕組みを検討していきたいと考えています。	教育総務課
26	市P連	尾鷲中学校への給食の導入をお願いしたい。	尾鷲中学校での給食実施について、本年6月に保護者・生徒へのアンケートを実施した結果、多くの保護者から完全給食の実施が必要であるとの意見をいただいておりますが、既存施設での給食調理を実施するには、調理場の設備・器具老朽化の改善、衛生環境の整備等課題もあり、実施に向けてはもう少し検討する時間が必要であります。今後、学校現場や保護者の方々の声も参考にし、学校施設全体のなかでの優先順位を検討しながら実施に向けて取り組んでいきたいと考えております。	教育総務課
27	市P連	宮之上小学校区内には、道路への標高表示がない。尾鷲小のように、道路に標高を描くような事業を宮小でもやって欲しい。	宮ノ上小学校区への標高表示のライン塗装につきましては、11月14日に7箇所行う予定でしたが、雨天により延期となりました。現在宮之上小学校と協議し、年明けに塗装を行う方向で調整を行っております。また、この事業につきましては今後も継続して行い、ポストの設置・塗装箇所を随時増やしていく予定であります。	防災危機管理室
			尾鷲小学校以外の学校におきましても同じ事業を行ってきており、宮之上小学校では来年1月に実施する予定です。	教育総務課
28	市P連	スクールガードをもっと増やせないか、現在は要への配置のみが限界なので、積極的な確保をお願いしたい。	スクールガードについては、必要人数を各学校に確保していただいております。更に必要と思われる場所が明らかであれば、学校と相談していきたいと思っております。	教育総務課
29	市P連	宮之上小学校や第二保育園からの桜茶屋方面への避難路はせまくて危険なところも多い、広い避難路を確保できないか。	現在定めている避難路は、最速、最短で高台へ避難できるルートとなっており、子どもの命を守るためには最適な経路と考えています。この避難路を安全、かつスムーズに避難できるよう、今後も訓練を重ねていきます。	教育総務課
30	梶賀	尾鷲と言えば水産だ、水産は対外的にも課として特出ししている方がよい。	人口減少社会の到来により職員数を削減してきた本市において、限られた行政資源(人・物・金)を有効活用し、市民の皆さんの納得性の高い行政サービスを提供していく必要があることから、業務の整理統合・集約化を図るとともに、捕れた・生産した・加工した物を、いかに流通させるかを一体となって取り組むことが効果的との考えて現在の「水産商工食のまち課」を設置したものであります。	総務課

No.	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
31	梶賀	野良猫が増えており、糞尿など獣害となっている、何とか対応ができないか。	野良猫に対する施策といたしましては、ガーデンバリアを一週間程度貸出し、その効果を試していただくことを行っています。本年度から梶賀地区のご協力のもとTNR活動を実施させていただいています。また、猫が嫌がる状況を作り出すことで、近寄らない方法の一覧表もありますのでご利用いただければと思います。なお、「動物の愛護及び管理に関する法律」等により食べ物を与えないように広報したり、子猫を処理したりすることができませんのでご理解ください。	市民サービス課
32	梶賀	ふれあいバスハラン線について、10時のワイドビューに間に合うような時刻設定、尾鷲駅への停車を検討してもらえないか。	JRとの接続については、重要であると考えています。可能な限り利便性があがるよう時刻表の改正を検討させていただきます。また、公共交通については、「地域公共交通網形成計画」の策定のため、各地域を住民懇談会で回っており、それぞれの地区の要望を受け尾鷲市全体の公共交通網の形成に向けた取り組みを行っております。	市長公室
33	賀田	尾鷲総合病院のリニアックの更新は必要だ、予算が必要であれば、紀北町との広域経営などでにしてもお願いしたい、	リニアックの整備については、更新費用に約3億8千万円が必要であり、10年連続して赤字決算の尾鷲総合病院が病院独自で設置した場合、現状でも厳しい経営が更に厳しくなり、病院運営そのものに支障をきたすことが予想されます。 今後も限られた財源の中、市全体の財政状況や市民の皆さんにより満足をいただける事業の優先順位を精査しながら、リニアック更新についても引き続き検討してまいります。 また、尾鷲総合病院は尾鷲市が開設する公立病院であることから、紀北町との広域経営等については、今後の課題のひとつとして検討していきたいと考えております。	尾鷲総合病院
34	賀田	地域の活性化にはコミュニティーセンターの職員が重要になる、事務だけするのではもったいない。頻繁に変わられても困るし、臨時職員という位置づけではなく、せめて嘱託職員など、その位置付けや待遇のアップをお願いしたい。	平成24年度に公民館をコミュニティーセンターとして地区センター(旧出張所)とともに市民サービス課の所管とし、センターとの相互の情報共有・地域支援相談受付の一本化を図りました。また、他の臨時的任用職員(日額支給)の業務内容と照合しながら、コミュニティーセンターの業務内容を整理する中で、センターの各地区及び各地区コミュニティーセンターの参加と活動支援体制の強化を図ることとし、新規採用者については随時臨時的任用職員(日額支給)として雇用することとしています。現在、早田・三木浦コミュニティー職員は臨時的任用職員(日額支給)で雇用していますが、地域住民やセンターと連携し地域活動業務を行なっています。今後も、本庁・各センター・各コミュニティーセンターが一体となって地域活動支援を進めていきたいと思っておりますのでご理解ください。	市民サービス課